

みやぎ観光回復戦略に位置づける取組の進捗状況について（登米圏域）

【みやぎ観光回復戦略 計画の基本理念】

安全安心の確保とともに、デジタル変革を進め、新たなビジネスモデルの創出を図り、持続可能で選ばれる観光地をつくる

視点1 安全・安心の機運の醸成と可視化により、選ばれる観光地をつくる

- (1) 観光地として選ばれるための安全安心の対策とその見える化
- (2) 入国制限緩和を見据えたインバウンドへの取組

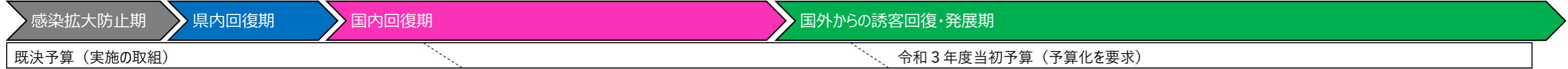
視点2 回復フェーズに応じた取組を推進するとともに、観光資源の魅力を再発見し、地域と旅行者の関係を深める

- (1) 社会経済活動の回復フェーズに応じた取組の推進
- (2) 地域の魅力の再発見と旅行者の受入体制の構築
- (3) 交流人口の拡大に加えて関係人口の拡大へ

視点3 ニューノーマルに適応したビジネスモデルに転換し、新たな観光を創出する

- (1) 新しい価値観からみやぎの新しい観光創出へ
- (2) みやぎにしかないアドバンテージ（東北 DC, 東京オリパラ, 復興 10 年等）を活かす

【回復フェーズ】



(1) 圏域観光の周遊促進

① 風土マラソン等イベント来訪者等を圏域内の観光地等へ誘導する仕組みづくり (2) (2) (3)

② 豊かな自然や地元食材が楽しめ、農林業体験もできる滞在型コンテンツの拡充 (1) (2) (3) (1)

③ 選ばれる、魅力ある観光資源の掘り起こしと磨き上げ、受入体制の整備 (2) (3) (1)

(2) 圏域観光地の発信力向上

④ ソーシャルメディア等を活用した効果的な観光PRの推進 (1) (2) (1) (2) (3) (1)

⑤ 中核的な観光地「みやぎの明治村」等圏域観光地の魅力を再発信 (1) (2) (3)

(3) 「おかえりモネ」で知名度アップ

⑥ ロケ地という絶好の機会を生かし、気仙沼市と一体となったプロモーションの展開 (3) (2)

⑦ ロケ地巡り等の旅行イベントを企画・開発し、圏域観光を促進 (3) (2)

(4) 圏域一体となった観光地域づくりの推進

⑧ 圏域の観光地域づくりについて、住民の意識啓発と機運醸成 (1) (2) (3)

⑨ 圏域観光をコーディネートできるリーダー的な人材、組織の育成 (1) (2) (3)

取組	概要	取組の進捗状況	
		令和2年度	令和3年度
① イベント来訪者等を圏域内の観光地等へ誘導する仕組みづくり	事業者間の連携強化による域内観光地への誘導促進に向けた仕組みづくり及びモニターツアーの実施	・滞在型コンテンツの拡充と受入体制の整備を図るため、栗原地域と連携し、自然や食、体験コンテンツ等互いの長所を組み合わせた宿泊を伴う周遊モデルコースを造成 ・旅行会社のエージェント等を対象にタクシーを利用したモニターツアーを3回(11月～2月)実施し、課題を抽出	・事業者間の連携強化を図るワークショップを開催し、連携の仕組みを構築するとともに、連携を生かしたツアーコースを造成 ・登米地域の食材や名産品、農林業体験、自然等を楽しむ日帰りまたは1泊2日のモニターツアーを実施し、磨き上げを図る ・農村風景や農村文化、農業体験等を魅力とした農泊の推進を図るため、アドバイザー派遣により農泊型民泊事業の開業を支援 ・気仙沼地域や栗原地域等周辺地域との連携強化
② 自然や地元食材、農林業体験等による滞在型コンテンツの拡充	地域の魅力を生かした新たな観光資源の掘り起こしと、滞在型コンテンツの造成、新規組合せの検討、ニーズに合わせた既存資源の磨き上げ、観光客を迎え入れる受入体制の構築	・圏域情報を発信するため、県登米地域事務所の公式 SNS (Instagram, Twitter) を開設 ・YouTube や Instagram において、インフルエンサーによる圏域観光の PR を実施 ・「みやぎの明治村」の新たなファンの獲得、知名度の向上を図るため、Instagram を活用して魅力を発信	・Instagram 等の SNS を積極的に活用し、圏域情報を発信 ・インフルエンサーを活用して登米地域の魅力を効果的に発信 ・「みやぎの明治村」の新たなファンの獲得、知名度の向上を図るため、Instagram 等を活用して魅力を発信
③ 観光資源の掘り起こしと磨き上げ、受入体制の整備			
④ ソーシャルメディア等を活用した効果的な観光PRの推進	「みやぎの明治村」や「石ノ森章太郎ふるさと記念館」、長沼、農村風景・文化等をはじめとする圏域観光地の魅力を SNS 等のメディアを活用して効果的に発信するための体制づくり	・登米市が実施する NHK 連続テレビ小説「おかえりモネ」を活用した広報・プロモーション事業に対して支援を実施	・登米市が実施する NHK 連続テレビ小説「おかえりモネ」を活用した広報・プロモーション事業に対して支援を実施 ・気仙沼地域と一体となったロケ地ツアー等の実施を支援
⑤ 「みやぎの明治村」等圏域観光地の魅力を再発信	気仙沼市との連携を密にし、「おかえりモネ」のロケ地となったメリットを最大限に生かせる効果的なプロモーションの展開		
⑥ 気仙沼市と一体となったプロモーションの展開	「おかえりモネ」のロケ地を巡るツアーコースの造成やモニターツアーの実施により、圏域観光地を活性化	・登米市民を対象とした「みやぎの明治村」見学会を実施し、市民が地元の魅力を再発見する機会、地域の観光振興や活性化を考える機会を創出	・登米市民を対象とした域内ツアーを実施し、市民が地元の魅力を再発見する機会、地域の観光振興や活性化を考える機会を創出
⑦ ロケ地巡り等の旅行イベントを企画・開発し、圏域観光を促進	住民の域内観光促進により、地域の観光地について考える機会を創出		
⑧ 圏域の観光地づくりについて、住民の意識啓発と機運醸成	圏域観光を一元的にコーディネートし、情報発信・受入の窓口的役割を担うことのできる人材及び組織を育成	・観光関連事業者や交通事業者等による観光推進体制構築に向けた検討会を開催し、連携強化と人材・組織育成に向けた意識醸成を推進	・観光関連事業者や交通事業者等による観光推進体制構築に向けた検討会を開催し、連携強化と人材・組織育成に向けた意識醸成を推進
⑨ 圏域観光をコーディネートできるリーダー的な人材、組織の育成			

